

資 料

国庫送金為替	(-)	二、〇九三	
其 他	(+)	六	
◎対民間関係	(-)	八五〇	(単位 百万円)

(算定の基礎)

(資産)

貸 出 金	(+)	六、三〇四	
国債其他証券	(-)	二、五七九	
国 債	(+)	一七	(市中より買入超)
大蔵省証券	(-)	五三三	(閉鎖機関へ売却)
食糧証券	(-)	四、八六四	(市中銀行等より買入超)
復興金融債券	(+)	二、八〇一	(市中銀行等より買入超)
代理店勘定	(+)	四一八	復興金融庫へ売却
仮 払 金	(-)	九五	閉鎖機関へ売却
其 他	(+)	四六四	市中銀行等へ売却
(負 債)			
当 座 預 金	(+)	二、九三三	
其 他 預 金	(+)	一、四二二	
其 他	(+)	一、〇〇七	

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金等純民間関係と見做されるもの、収支を見るに、郵便貯金が三十二億八千一百万円の激増をみたため、地方公共団体に対する貸付金が十八億九千七百万円に上つたに

も拘らず十八億九千万円の収入超過を示している。従つて之を民間関係より差引き政府関係に加えると共に、農林中央金庫の食糧及び薪炭代金前受金勘定の月中増加二十七億五千二百万円中日本銀行よりの借入金返済に充当された六億

五千六百万円は同金庫立替金の返済と見做し、政府関係より民間関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券三十五億円中日本銀行より供給された資金により消化したとみられるもの二十七億五百万円は政府に対する信用創造と見做し民間関係より政府関係に移す。又復興金融庫に対する政府出資の払込金一億円は民間関係に加えるのを適当としよう。  
かくて対政府関係に基く流出額は、百二十五億九千二百万円に上るのに対し、対民間関係に於ては四十六億八千九百万円の収縮を示したこととなる。(黒崎)

昭和二十三年十月——十二月

日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析

(1) 十月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産	負 債		
政府貸上金	(-) 六〇七	日本銀行券	(+) 一七、四〇〇
貸 出 金	(+) 一、三七七	政 府 預 金	(-) 二、六八五
国債其他証券	(+) 一三、二〇七	其 他 預 金	(-) 四、四〇五
内訳(政府関係)	(+) 二〇、二九〇	其 他	(+) 二、〇三三
民間関係	(-) 七、〇八三		
代理店勘定	(-) 二、〇四五		
其 他	(+) 四一一		
計	(+) 二一、三四三	計	(+) 二一、三四三

(2) 右によれば政府との取引によつて流出した日本銀行券は二百二億三千一百万円に上るのに対し民間との取引に於ては却つて二十八億三千一百万円の収縮をみたこととなる。

◎対政府関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

政府貸上金	(-) 六〇七
政府貸上金	(+) 二〇、二三三

国債其他証券 (+) 二〇、二九〇

国債 (+) 一、六八八

大蔵省証券 (-) 九二

食糧証券 (+) 一八、六九四

代理店勘定 (-) 九

其他 (-) 三二六

(負 債)

政府預金 (-) 二、六八五

其他 (+) 一、八〇二

◎対民間関係 (-) 二、八三一

(算定の基礎)

(資産)

貸出金 (+) 一、三七七

国債其他証券 (-) 七、〇八三

国債 (+) 二八三

大蔵省証券 (-) 七三四

食糧証券 (-) 五、六二八

復興金融債券 (-) 一、〇〇四

代理店勘定 (-) 二、〇三六

其他 (+) 七三七

預金部より買入 (+) 九、〇〇〇  
 償引還受 (+) 九、〇〇〇  
 償引還受 (+) 一、〇〇〇  
 預金部へ売却超 (-) 一、〇〇〇  
 償引還受 (-) 七、〇〇〇

生命保険会社等より買入超 (+) 二六  
 閉鎖機関より買入 (+) 七六〇  
 市中銀行等へ売却 (+) 一、六七六  
 復興金融庫より買入超 (+) 六、一八〇  
 閉鎖機関へ売却 (+) 一、一二四  
 市中銀行等へ売却 (+) 三、四九四  
 償引還受 (+) 三、四六三  
 市中銀行等へ売却 (+) 三五  
 農林中央金庫へ売却 (+) 一、〇〇〇

(負 債)

其他預金 (-) 四、四〇五

其他 (+) 二三一

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の收支中、郵便貯金地方公共

団体貸付金等民間関係と見做されるものの収支を見るに、郵便貯金は前月に引

続き三十四億六千七百万円の増加を示したが、地方公共団体貸付金も二十九億

六百万円の純増を見たため結局六億二千四百万円の収入超過となった。従つて

之を民間関係より差引き政府関係に加えると共に本月発行の復興五分利国庫証

券三十九億円中日本銀行よりの借入金同行に対する国債その他証券の売却等同

行よりの資金供給により消化したとみられるもの二十六億一千五百万円は政府

に対する信用創造と見做し民間関係より政府関係に移す。かくて対政府関係に

基く流出額は二百三十四億七千万円に上るのに対し、対民間関係に於ては六十

億七千万円の収縮を示したことになるが、対政府関係が急増したのは政府資金

の撤布、殊に二百四十七億円に上る供米代金の支払によるものである。

二、十一月中

(1) 十一月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産	負 債
政府貸上金 (+) 三、九七五	日本銀行券 (+) 一五、二三一
貸出金 (-) 五、〇七〇	政府預金 (+) 五、八六六
国債其他証券 (+) 二四、〇六六	其他預金 (+) 一、四三三
内訳 (政府関係 (+) 四九、三七三)	其他 (+) 二九〇
(民間関係 (-) 二五、三〇七)	
代理店勘定 (-) 六〇	
其他 (+) 九一	
計 (+) 二二、八二〇	計 (+) 二二、八二〇

(2) 右によれば政府との取引によつて流出した日本銀行券は四百七十三億八千四百万円に上るのに対し、民間との取引に於ては却つて三百二十一億五千三百万円の収縮をみたこととなる。

資料

◎対政府関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

政府貸上金	(+)	三、九七五	
国債其他証券	(+)	四九、三七三	
大蔵省証券	(+)	二、五七五	
食糧証券	(+)	四六、七九八	
代理店勘定	(-)	三〇	
其他	(+)	七二八	
政府預金	(+)	五、八六六	
其他	(+)	七九六	
計	(+)	三三、一五三	

◎対民間関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

国債	(+)	九二	
大蔵省証券	(-)	六五	
食糧証券	(-)	七、一七二	
復興金融債券	(-)	一八、一六二	
代理店勘定	(-)	三〇	
其他	(-)	八一九	
計	(-)	一、六二二	
生命保険会社等より買入		三、八八三	
市中銀行等へ売却		一、六一二	
閉鎖機関へ売却		一、六七七	
復興金融金庫へ売却		六、八五四	
市中銀行等へ売却		四、〇四三	
引受		二〇、九七三	
農林中央金庫へ売却			
引受			
復興金融金庫へ売却			
市中銀行等へ売却			
引受			
農林中央金庫へ売却			
引受			

(負 債) 其他 預金 (+) 一、四三三  
其他 (-) 五〇六

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公共団体貸付金等民間関係と見做されるものの収支は地方公共団体貸付金が多額に上つたため四億八千五百万円の支払超過を示している。従つて之を政府関係より除き民間関係に加えると共に、農林中央金庫の食糧及び薪炭代金前受金勘定の月中増加百二十四億七千九百万円は全額日本銀行よりの借入金返済及び復興金融債券買入に使用されたもの故、同金庫立替金の返済と見做し、政府関係より民間関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券十八億円中日本銀行よりの借入金その他同行より供給された資金を以て消化したとみられるもの四億六千四百万円は政府に対する信用創造と見做し民間関係より政府関係に移す。かくて対政府関係に基く流出額は三百四十八億八千四百万円に上るのに対し、対民間関係に於ては百九十六億五千三百万円の収縮を示したことになるが、対政府関係が前月に比し更に百億円以上の増加となつて居るのは主として供米代金の支払が五百五十八億円の巨額に上り、之が為め本行に於ける食糧証券が四百六十七億円の増加を来したことに由る。

三、十二月中

(1) 十二月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

政府貸上金	(+)	三、八九八	日本銀行券	(+)	六〇、五三六
国債其他証券	(+)	七、五三三	政府預金	(+)	六八八
代理店勘定	(+)	六八	其他預金	(+)	三、三五三
其他	(+)	八、七八六	其他	(+)	二、三八五
計	(+)	六六、九四二	計	(+)	六六、九四二

(単位 百万円)

